



宇都宮市教育委員会の小堀教育長(右)にイチゴを寄贈



下野市の坂村哲也市長(右)にイチゴを寄贈



上三川町教育委員会の氷室清教育長(右)にイチゴを寄贈

地元産のとちおとめ・とちあいかを寄贈 JAイチゴ贈呈式

12 づくら新刊
JA

JAは1月6日に宇都宮市教育委員会、13日に上三川町教育委員会に、食育活動の一環として全小学校の児童ら約3.4万人分のイチゴ「とちおとめ」と「とちあいか」を寄贈しました。JAは地産地消の推進などを目的に、2016年度から毎年イチゴの寄贈を実施しています。「とちあいか」は今回が初めての寄贈です。

6日はJAの横松久夫組合長らが宇都宮市役所を訪れ、小堀茂雄教育長にイチゴを手渡しました。小堀教育長は「真っ赤なイチゴをおいしそうにおばる子どもたちの姿が目に浮かぶ」と話し、感謝を述べました。

感謝状を受け取った横松組合長は「宇都宮産のおいしいイチゴを食べて、ぜひ子どもたちに食や農業への興味を持つてほしい」と語りました。

「宮農経済センター集約・再編」のご案内

組合員・利用者の皆さまへ

日頃より当JAをご利用いただきありがとうございます。第24回通常総代会にて決定しました「宮農経済センターの再編計画」に基づき、**令和5年4月1日(土)より現行の8宮農経済センターから4宮農経済センターに集約・再編いたします。**

組合員・利用者の皆さまには将来にわたり安心してご利用いただけるようしっかりと対応して参りますので、深いご理解とご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

1. 宮農経済センターおよび購買店舗の集約・再編の内容

(1) 令和5年4月1日(土)より北部・南部・上河内・上三川の4宮農経済センターで運営させていただきます。

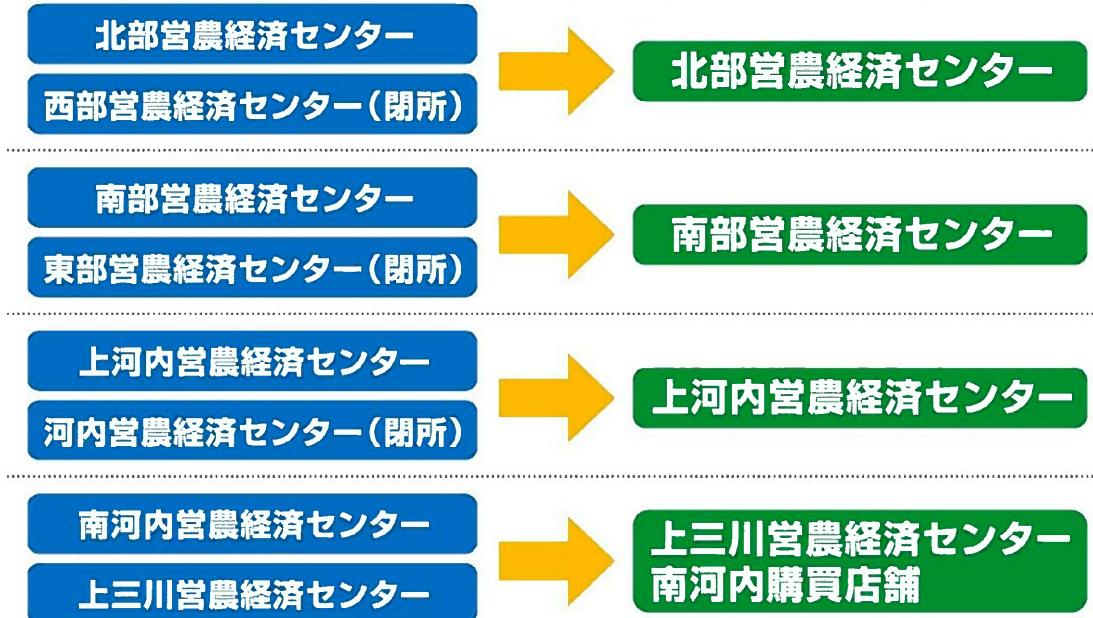
※南河内については、生産資材のみ取り扱う「南河内購買店舗」および宮農業務(集荷・育苗など)の一部機能を同所で継続します。

(2) 西部・東部・河内宮農経済センターは令和5年3月31日(金)をもって閉所させていただきます。

※購買店舗のみ準備の都合上、令和5年3月24日(金)をもって閉店させていただきます。

[現 行]

[令和5年4月1日(土)より]



2. 購買事業のご利用について

(1) 店舗来店でのご購入は**最寄りの購買店舗**をご利用いただけます。

(2) 購買品の予約・配送のご注文は**管轄(集約先)の宮農経済センター**までご連絡いただけますようご協力ください。

(3) 閉所されるセンター(西部、東部、河内)でも一定の条件の下、予約取りまとめに係る肥料自己取りの対応を行います。(引取場所・期間は改めてご案内します)

①春用予約

- ・予約申込数量が品目合計で100袋以上を対象とします。
- ・引取期間を指定して対応します。

②秋用(麦)予約・・・引取期間を指定して対応します。

3. 営農関連事業のご利用について

- (1) 営農相談や営農計画書、米の契約など、営農に関するご相談・ご連絡は管轄(集約先)の営農経済センターにお願いいたします。
- (2) 令和5年度は現在の青果物集出荷所を変更なくご利用いただけます。
(選果場・集出荷所の集約・再編については継続協議とします)
- (3) 米麦関連施設(共同乾燥調製施設(RC・CE)や米倉庫)は変更なくご利用いただけます。
現在ご利用いただいている施設を基本に、管轄(集約先)の営農経済センターにお申し込みの上、ご利用(出荷・搬入)をお願いいたします。
- (4) 専門部会などの組織対応は、園芸課(東部・西部選果場)および再編後の営農経済センターで従来どおり行います。

4. 集約後の所在地・ご連絡先について

北部営農経済センター

住所 : 〒321-2118 宇都宮市新里町丙 286-1
営農課 ☎028-665-0550 経済課 ☎028-665-1876

管轄地区

北部地区(国本・富屋・篠井)
西部地区(姿川・中央・宝木・城山)

南部営農経済センター

住所 : 〒321-0113 宇都宮市砂田町 526
営農課 ☎028-656-8484 経済課 ☎028-656-8707(新設)
直売所 ☎028-656-1212

管轄地区

南部地区(横川・雀宮・瑞穂野)
東部地区(平石・豊郷・清原)

上河内営農経済センター

住所 : 〒321-0403 宇都宮市下小倉町 1218
営農課 ☎028-674-2164 経済課 ☎028-674-5840(新設)
直売所 ☎028-674-2711

管轄地区

上河内地区(羽黒・絹島)
河内地区(古里・田原・白沢)

上三川営農経済センター

住所 : 〒329-0611 河内郡上三川町大字上三川 3237
営農課 ☎0285-55-1515 経済課 ☎0285-55-1511

(南河内駐在)
住所 : 〒329-0425 下野市田中 579-1 南河内購買店舗・営農課(南河内) ☎0285-48-2215

管轄地区

上三川地区(上三川・本郷・明治)
南河内地区(吉田・薬師寺)

支所でもお取り次ぎをいたします

西部・東部・河内営農経済センターの閉所に伴う代替策として、支所でも「購買予約申込書」や「営農関連書類」などを預かりし対象センターにお渡します。その際は支所窓口にお声掛けください。(連絡BOXの設置)

(緊急時や専門的対応が必要な場合は直接営農経済センターにお声掛けくださいようお願いいたします)

◆対象支所 西部管内・・・姿川支所、中央支所、宝木出張所、城山支所

東部管内・・・平石支所、豊郷支所、清原支所

河内管内・・・河内支所

総代の役割学ぶ JA新総代研修会

新総代に向けて開催された研修会



JAは12月14日、JA本所や各営農経済センターなど9カ所で新総代研修会をリモートで開き、22年に就任した総代やJA役職員ら236人が参加しました。同研修は新総代に総代としての役割やJAについての理解を深めてもらうことが目的です。

JAの横松久夫組合長は「来年度の総代会に向けて、皆さんにはJAにしっかりと目を向けていただければ」とあいさつしました。

今回の研修会ではJA栃木中央会の廣澤猛次長が講師を務め、総代の役割や総代会、JAの概要などを説明。総代の役割について、総代会に出席し、議決権を行

使すること、地域の組合員との話し合いからニーズや要望を把握し、会議で発言したりJAに伝達したことだと解説しました。

准組合員の意見を取り入れる

JAは1月13日、宇都宮市上籠谷町の東部選果場で、第3回准組合員モニター「選果場見学会」を開催。モニターに応募したJAの准組合員9人が参加しました。

准組合員モニター制度は、アクティブメンバーシップの確立の一環として、継続的な意見交換を通じ、事業運営に生かすことが目的。第3回目となる今回は、同選果場のトマト梨統一選果場やイチゴのパッケージ施設を見学しました。参加者は「すべてを機械任せにするのではなく手作業でやっていて、安心感があると同時に意外と手間が掛かっているなど感じた」と語りました。

また、参加者はイチゴのパック詰めを体験。選果された「とちおとめ」4パック分を詰め、「思っていたより難しい」「慣れると面白い」と話しました。

准組合員モニター



イチゴのパック詰めを体験する参加者

防除確実に JA梨専門部防除暦説明会

河内営農経済センターで行われた
令和5年産梨専門部防除暦説明会



JA梨専門部は1月23、24日の2日間、宇都宮市内4カ所で「令和5年産梨専門部防除暦説明会」を開きました。清原・雀宮・河内・城山4支部に分かれ、計103人が参加しました。

24日に河内営農経済センターで行われた河内支部の説明会には、同支部の部員や県・JAの担当者ら約20人が参加。JAの担当者が22年産ナシの販売最終実績について、全品種を合わせた販売額が過去最高だった21年産に続き、2年連続で11億円を突破したことを報告しました。「にっこり」の販売額が過去最高額を更新したことが大きく寄与しました。

説明会では県河内農業振興事務所の担当者が、温暖化による気象の変化に対して、状況の見極めと早めの防除を呼び掛けました。また23年産防除暦について、JAの担当者がハダニ対策の強化など22年産からの変更点を説明しました。



銀賞を受賞した小塚さん(左)



乾杯を行う参加者ら

「とちぎの星」食味コンテストで小塚雅弘さんが銀賞(12月13日)

とちぎ農産物マーケティング協会は、栃木県JAビルで初めて「とちぎの星」食味コンテストを開催。JAうつのみや管内では小塚雅弘さんが銀賞を受賞しました。



利用者を避難誘導する
職員(北部支所)



「JAグループ栃木対策本部
緊急会議」の様子

事業継続計画(BCP)に沿った行動を確認(1月17日)

「JAグループ栃木大規模災害統一訓練」を実施し、県内の各JAなどが参加しました。



今回並ぶ
機に並ぶ



調理する丸山支部長(左)と会員

味付けにこだわった料理を子どもたちに(1月23日)

みどり会城山支部は、宇都宮市戸祭4丁目の昭和こども食堂で調理ボランティアを行いました。参加した丸山明子支部長は「おすすめはマーボー豆腐。レトルト調味料を使わず甘めに味付けしました」と話しました。

組合員の皆さんからの地域の話題や活動報告をお待ちしております。写真を添えてお送りください。
※紙面の都合上、掲載されない場合もありますのでご了承願います。詳しくは総務課組合員広報係まで。

管内インフォメーション



食を通じて地域を支援 宇都宮市城山水稲四石会

米を提供
「こども食堂キッチンもぐもぐ」



都宮市城山水稲四石会（よんこくかい）は12月23日、宇都宮市鶴田町の「こども食堂キッチンもぐもぐ」に、同会が生産した米「コシヒカリ」70kgを提供しました。同会は地域貢献と地元農畜産物の消費拡大を目的に年1回支援を行い、今年で3回目となります。こども食堂の丸山明美代表は「食堂でお米を大量に使うので、支援は大変ありがたい」と感謝を述べました。同会の小平裕一会長は「本当においしいお米を農家がこだわって作っている。子どもたちにも味わってもらいたい」と話しました。同会はJA西部管農経済センター管内の稻作農家を中心に構成され、四石（米俵10俵分）以上の多収穫を目指して1967年に設立。現在、会員は19人で、栽培技術研究などに取り組み、技術を高め合っています。



楽しくスマートフォンの操作学ぶ

JA みどり会

スマホアドバイザーから
操作方法を学ぶ参加者

JAは1月11日、JAの平石支所、南部支所、26日に豊郷支所で、JA女性会を対象に「みどり会スマホ教室」を開催しました。スマートフォンの使用方法を学ぶ勉強会はJA女性会で初めての取り組み。11日に平石支所で行われた勉強会にはみどり会平石支部の会員20人が参加。ソフトバンク株式会社のスマホアドバイザーが講師を務め、文字入力のコツやマップアプリ、カメラの使い方などを説明しました。参加者は貸し出されたスマートフォンを使って操作を実践。和やかな雰囲気で操作方法を学びました。

同支部の郷間久子支部長は「スマホを使うようになってから女性組織での連絡が本当に楽になった。今回皆さんに参加していただいて、関心の高さを感じる」と話しました。



スマート農業に向けて ザルビオ・フィールドマネージャー操作研修会



説明を聞く職員



うつのみやは1月12日、宇都宮市平出工業団地の栃木県JAビルで、スマート農業の取り組み拡大および、支援を目的として職員を対象に「ザルビオ・フィールドマネージャー操作研修会」を開催しました。

「ザルビオ・フィールドマネージャー」は衛星データとAI（人工知能）を活用し、生育・病害予測を行う栽培管理支援システムです。講習会では、JA全農東日本管農資材事業所の担当職員が講師を務め、参加職員は実際にシステムの操作を行なながら機能説明を聞きました。

JAうつのみやは7月に生産者を対象にZ-GISとザルビオの講習会を開催するなど、全農とちぎと連携して普及に取り組み、生産者への支援を強化していきます。

水稻



育苗の準備をする季節になりました。保有米を含め、100%種子更新をしておいしいお米の安定生産に取り組みましょう。

種子の準備

種子粉は10g当たり乾燥粉で3~3.5gを目安に準備します。

種子の消毒

種子消毒は必ず行いましょう。消毒済みの種子は殺菌剤の処理のみであるため、殺虫処理をする際は、スミチオン乳剤を加え、10度以上の停滞水で3日間、水を替えずに浸種します。

また、温湯消毒をする場合は、種子粉を網袋に詰め、温湯消毒器の湯温を60度にし、10分間浸漬します。浸漬後は直ちに冷水で冷却します。温湯消毒後すぐに浸種する場合は、乾燥させずに浸種します。は種まで期間がある場合は、ムレないよう乾燥させ、清潔な冷暗所に保管します。

未消毒種子を使用する場合は、必

ず殺菌・殺虫処理を行い、発芽のそろいをよくするため、浸種期間を充分に確保しましょう。

浸種

水温を13度前後に保ち、2~3日ごとに水を替えるながら、消毒種子は積算温度120~130度、未消毒種子は100~120度を目標に行いましょう。

3月中旬~4月上旬は最低気温が氷点下に近くなる日もあることから、油断せずに保温措置をとりましょう。

催芽

催芽温度は28~30度に設定し18~20時間で均一に催芽させ、大部分の粉が芽長1mm程度になっているのを確認してからは種します。

は種

一箱当たりのは種量は、乾燥粉で150g以下とし、均一には種します。覆土は、施肥・消毒した床土と同じものを使用します。

出芽 平置き出芽法

の場合は、ハウスに展開後、シルバーラブなど

の専用資材で被覆します。ハウス内が35度以上になるときは換気を行いましょう。

雑草防除

雑草は刈り取り作業の支障になるだけでなく品質低下を招きます。雑草が発生している場合は、茎立ち期までに、防除しましょう。その際は、十分な散布水量で雑草の葉がよく濡れるようにしましょう。

床土の準備

床土は保水力が高く通気性が良いものでpHが5.0~5.5の赤土か山土を使用します。pHの高い土は、苗立枯病・ムレ苗が発生しやすくなります。pHの高い水田や畑の土の使用は控えましょう。

床土の施肥は表1の通りです。は種10日前に混和しましょう。

床土消毒は、苗立枯病・ムレ苗の発生を防ぐため必ず行いましょう。粒状培土でも消毒は必ず実施してください。(表2)

麦

今年産の麦は、平年よりも日照時間が多いにもかかわらず、少雨などの影響により生育量は少なくなっています。今後の降雨などに備えて、排水対策の点検を行いましょう。



水を行い、再び被覆して1~2日すると出芽します。

電熱育苗器を利用するときは、育苗器内を30度に設定し芽が1cmになつたらハウスに展開します。

水を行い、再び被覆して1~2日す

ると出芽します。

電熱育苗器を利用するときは、育

苗器内を30度に設定し芽が1cmになつたらハウスに展開します。

水を行い、再び被覆して1~2日す

ると出芽します。

電熱育苗器を利用するときは、育

苗器内を30度に設定し芽が



『青壯年部の記』 ～Youth & Middle～

せい そう ねん
ユース & ミドル

南河内支部

南

河内支部は35人で活動しています。若手農業者を中心とした野球チームでは、過去栃木青年部連盟主催の球技大会で優勝、関東甲信越大会では準優勝しました。現在でも当時対戦した他県の盟友と情報交換を行うなど、交流が続いている。

また、今年度は旧吉田支所跡にできた吉田村ビレッジの夏祭りに参加し、地元農産物を使用したピザや野菜を提供しました。今後もこのようなイベントに積極的に参加し、地域の方々と交流を重ねていきたいと思います。



R4 吉田村夏祭りで提供したピザ

上河内支部

河内支部では、野田勇一支部長を筆頭に盟友38人で活動しています。

今年度はゆずのこ保育園の園児たちを招待し、塩原克彦副支部長のほ場でサツマイモの苗の定植（6月）と収穫作業（10月）を行いました。園児たちは盟友たちの指導のもと、とても楽しそうに作業に取り組んでいました。作業後には、園の先生方と園児たちが感謝の言葉をたくさん掛けってくれました。皆で一生懸命掘つたサツマイモをおいしそうに頬張る園児たちが目に浮かび、今後の支部活動にますますやる気がみなぎりました。

今後も地域の農業に貢献し、さらなる発展を目指して活動していくきます。



R3 6月の芋植えの様子

青壯年部全体（本部）

青

壮年部では、8月に盟友のハウスとほ場をお借りし、組織活動と地元農産物をPRする動画を撮影しました。完成した動画は10月21日に開催された栃木県青年大会のPR動画コンテストに出品し、最優秀賞を受賞。さらに栃木県代表として関東甲信越地区青年大会のPR動画コンテストにも出品され、そちらでも最優秀賞を受賞しました。動画はQRコードからぜひご覧ください！

令和5年度も青壯年部はさまざまな活動を開いています。新たな仲間を随時募集しておりますので、気になった方は最寄りの當農経済センターまたは當農企画課までお問い合わせください。



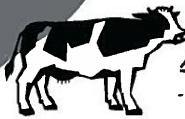
動画QRコード



組織活動と地元農産物をPRする動画



最優秀賞の賞状を手にする
吉田昌史部長（左から一人目）



牛乳をもっと食卓に

おいしいミルクレシピ

エビと春野菜のソテー カレーミルクソース

フランスの伝統料理「ショーフロア」を作りやすくアレンジ



材料(2人分)

エビ	10尾
小麦粉	少々
塩、こしょう	各少々
オリーブ油	適量
牛乳	150ml
生クリーム	150ml
ベーコン	2枚
グリーンアスパラガス	2本
ソラマメ	8個
グリーンピース	20粒
カレー粉	少々
セルフィーユ	適宜

作り方

- ①ベーコンは短冊形、グリーンアスパラガスは5cmの長さに切っておく。
- ②フライパンに、オリーブ油を入れ、小麦粉をまぶしたエビを炒め、塩、こしょうで味を調える。
- ③鍋に牛乳、生クリーム、①のベーコンとグリーンアスパラガス、ソラマメ、グリーンピースを入れて火にかける(煮立たせないようにするのがポイント)。
- ④③に、カレー粉と②を入れて味をなじませる。仕上げにセルフィーユを飾る。

今月の直売所情報

えきの市場 3/11(土)JAうつのみや
苺専門部宇都宮支部青年部による試食販売15:00~17:00

JAうつのみやのおいしい イチゴをご紹介!

※無くなり次第終了とさせていただきます。

どちあいか
スカイベリー
など



JAグリーンインターパーク 3月25日(土)

春の感謝フェア

お買い得商品を取りそろえて皆さまのお越しをお待ちしております。

お米の特売日

JAグリーン
インターパーク直売所

毎月第3日曜日(3/19)

JAうつのみや お薦めのみやおとめ
(コシヒカリ)をお買い得価格にて販売します!!



JAグリーン
かみかわち直売所

毎月8の付く日(3/8, 18, 28)

特売 南河内
グリーンセンター
第3金土日曜は
特売デー

南河内グリーンセンター

生産者さん 募集中!!

北側ガラス温室テナントも
同時募集中
詳しくは南河内営農経済センター
TEL: 0285-48-2215
営農課 森田・上野まで

姿川支所

だより

各支所の活動や地域の情報を届けします!



久々の県大会開催に向け、気合が入りました!!～年金友の会姿川支部～

管内の各支部において盛り上がりを見せている年金友の会!

姿川支部では、今年3年ぶりに開催された栃木県JA年金友の会グラウンド・ゴルフ大会へ向け支部予選が開催されました。

支部長の小林金弥さんは、JAうつのみや年金友の会および栃木県JA年金友の会の会長でもあるため、支部会員に3年分の気合を入れて挑むよう声掛けを行い、例年より活気に満ちた大会となりました。

次年度はJAうつのみや大会も開催されることを期待し、日々の練習に取り組んでいます。



支部予選の様子



支部予選に参加した会員たち

毎年恒例、旧正月の輪投げ大会♪～年金友の会姿川支部～

輪投げ大会の様子



輪投げ大会に参加した会員たち



グラウンド・ゴルフ大会に引き続き、会員が楽しみにしている行事として輪投げ大会を開催しています。

姿川支部では毎年9月・1月と年に2回開催し、こちらも会員から大人気!

新型コロナウイルス感染防止対策として検温、消毒、ゴム手袋の着用など、会員のご理解ご協力をいただきながら毎回大いに盛り上がっています。

やってみると意外に難しく、輪投げ台に輪を当てるだけでも一苦労…。

声を掛け合いながら会員同士でアドバイスをするなど、とても親睦が図られています。



支所・センター電話番号

中央支所	028-633-3467	南河内支所	0285-48-2211
宝木出張所	028-622-6111	上三川支所	0285-55-1510
平石支所	028-661-4311	宇都宮北部営農経済センター	028-665-0550
南部支所	028-656-1020	宇都宮西部営農経済センター	028-658-6565
城山支所	028-652-0711	宇都宮南部営農経済センター	028-656-8484
北部支所	028-665-0003	宇都宮東部営農経済センター	028-660-3535
豊郷支所	028-624-8011	上河内営農経済センター	028-674-2164
清原支所	028-667-0151	河内営農経済センター	028-673-6911
姿川支所	028-658-6881	南河内営農経済センター	0285-48-2215
上河内支所	028-674-3333	上三川営農経済センター	0285-55-1511
河内支所	028-673-3135	住宅ローンセンター	028-622-7100

各種お問い合わせはこちらへ

■ キャッシュカードの紛失・盗難
フリーダイヤル0120-082065

■ 夜間・土・日・祝祭日の自動車事故(24時間受付)
事故受付センター フリーダイヤル0120-258931

■ JA葬祭(24時間受付)

アトラス宇都宮ホール 028-660-5555
アトラスアミリーホール鶴田 028-633-9200
アトラス上三川ホール 0285-55-1555

■ LPガス関係 灯油・軽油・A重油の配達
フリーコール 0800-700-0085(通話無料)
※緊急連絡先028-633-0085